

世界が進むチカラになる。



2025年11月17日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

LGBTQへの取組評価「PRIDE 指標」における最高評価「ゴールド」受賞について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、2025年11月14日、一般社団法人 work with PrideによるLGBTQ（性的マイノリティ）に関する取り組みを評価する「PRIDE指標」において、最高評価の「ゴールド」を受賞^[1]しました。



「PRIDE指標」は、LGBTQ+などの性的マイノリティが働きやすい職場づくりを日本で実現するために、work with Prideが2016年に策定した、LGBTQ+に関する企業・団体などの取り組みの評価指標です。Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の5つの指標で構成されており、各指標で指定の要件を満たしていれば点数が付与され、総得点により、ゴールド、シルバー、ブロンズの認定が付与されます。

MUFGでは、性的指向・性自認などにかかわらず、誰もが自分らしく活躍できる職場の実現をめざし、2016年度以降、差別禁止方針の明示や社員向け研修の継続的な実施、「同性パートナーシップ認定制度」の導入などに取り組んでまいりました。2025年度は、6月の「PRIDE月間^[2]」におけるLGBTQへの理解促進を目的としたグローバル協同でのイベント実施、記事の社内展開など、取り組みを継続して実施しました。このような取り組みが評価され、最高評価「ゴールド」の受賞に至りました。ゴールド受賞は6年連続7回目の受賞になります。

MUFGは、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DEI）の推進を重要な経営課題の一つとして位置付け、ジェンダー、障がい、国籍、人種、年齢、性的指向など、多様な属性や価値観を持つ社員一人ひとりが公平・公正な成長機会を得ながら自身の能力を最大限に發揮できる組織・職場環境づくりに取り組んでいます。

社員一人ひとりが互いの違いや持ち味を認め合いながら新しい価値を創造し、全てのステークホルダーが持続可能な未来、新たなステージへと進むチカラとなるべく、DEI推進に全力で取り組みます。

[1] 「ゴールド」の受賞は、MUFGおよびグループ6社（株式会社三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、三菱UFJニコス株式会社、MUS情報システム株式会社、三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社）における取り組みに対し、評価を得ました。

[2] LGBTQなどの性的マイノリティの当事者およびコミュニティの権利、平等、認知拡大のための啓発活動の取り組みを実施する期間で、当社においてもこのPRIDE月間を祝う取り組みを実施しました。

以上